



開拓精神

48 日間の 3 学期 自分の取組に OK を出せる 3 学期に

令和7年、新しい年を迎えました。今年もよろしくお願いいたします。各ご家庭においては、新年を迎え、今年はどんな年にしようかと考えられたことと思います。

さて、まとめの学期となる3学期は48日の登校です。新学年の大事な準備期間とも言われます。それぞれの目標に向かい、自分の得意や強みを磨く3学期となることを期待しています。

3 学期始業式 校長講話より ※スライドショーを使いながらの講話です。

新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎えました。

皆さんはお正月に、何かやろうと決めたことはありますか？

私は箱根駅伝を見ていて今年も感動したので、長い距離を走れるように頑張ろうと思い、5日に軽井沢ハーフマラソンの申込をしました。

1年前にもここで話しましたが、昨年4月からスタートした1年の「締めくくり」と考えれば、今日は最終3学期のスタートですね。

でも、4月に進級して新たにスタートする「新年度の大切な準備期間」と考えれば、先輩となる1年生にとっては「2年生0学期のスタート」，“学校の顔”になるとともに修学旅行や部活動の最後の大会に臨む2年生にとっては「3年生0学期のスタートとなる学期」と言えるでしょう。

どちらにしても、重要な48日間になります。

特に3年生にとっては、義務教育9年間のしめくくりとなる48日間です。進路目標の実現に向け、不安やプレッシャーが大きくなると思います。でも、次の新しいステージへの助走期間です。目の前の「今」を大切に、今できることを着実にやって、次のステージへの扉を開いてほしいと思います。

今日は最初に、昨年の10月～12月頃にはまっていたドラマの話をします。ドラマのタイトルは『宙（そら）わたる教室』です。火曜の夜10時からNHKで放送されていました。見ていた人はいますか？

私は毎週ワクワクしながら、ある定時制高校科学部の挑戦を見守っていました。

このドラマ（小説）は、大阪府のとある定時制高校・科学部の実話がモデルになっています。

あらすじは、[NHK 番組HPを参考に一部修正しています] 東京にある東新宿高校定時制（夜間学校）には、さまざまな事情を抱えた生徒たちが通っています。

負の連鎖から抜け出せない不良の岳人（たけと）。

授業についていくことを諦めかけたフィリピン人の母と日本人の父を持つアンジェラ。

起立性調節障害を抱え、保健室登校を続ける佳純（かすみ）。

青年時代、高校に通えず働くしかなかった年長者の省造（しょうぞう）。

年齢も置かれた状況もバラバラな彼らの元に、理科教師 藤竹が赴任してきます。藤竹先生の導きにより、4人は教室に「火星のクレーター」を再現することをめざします。その後、実験結果を学会で発表することをめざしますが、自身が抱える障害、家庭内の問題、断ち切れない人間関係など様々な困難が立ちふさがるのです・・・。

4人の中で特に大きな変化を遂げたのが岳人（たけと）。高い知性と学習意欲を持ちながら、読み書きが苦手という学習障害に気づくことなく成人し、自分は“不良品”なんだと思い込んでいたけれど、藤竹先生と出会い、学ぶ喜びを知り、実験にのめり込んでいく。藤竹先生や科学部のみんなとの出会いで、色んなものを吸収してぐんぐん成長していった。そして、ありのままの自分を肯定できるようになっていった。

4人は「何かを学びたい。自分を変えたい。」という願いをもって、定時制高校に通うと決めたからそこで出会った。本気で自分を変えたいと思ったなら、とにかく一步目を踏み出すことが大切だと私は思います。

科学部での活動中、さまざまな問題に直面し、もがき・衝突しながら、彼らは試行錯誤を続け、自らの力で未来を切り拓く勇気と信頼関係を育てていった。諦めずに、前に進みたいと強く願う人の前には道は開ける。

そして、一番大事なものは、「本気で何をしたいか！」だと、私は思います。

『SLAM DUNK』桜木花道が言った「断固たる決意」ってやつです。

今から10年前の2015年、有村架純さん主演で映画「ビリギャル」が公開されました。その主人公とされたのが、小林さやかさんです。

金髪ギャルのさやかさん、こんな人です。（＊スライド）

でも、そんな簡単に慶応大学に合格できないんです。さやかさんは、本気で慶応大学に行くと決意したんです。桜木花道の「断固たる決意」です。さやかさん、どうしたと思いますか？

髪を黒くし、メイクをやめ、1日15時間の猛勉強を開始したそうです。

2学期、腰塚勇人（はやと）さんによる『命の授業』の講演がありました。私はその日、出張で聴くことができず残念に思っていたら、腰塚さんから電話をいただきました。

「長峰中に入ったら「しゃべっている言葉によってあなたの未来が変わる!」と掲示されていて感激しました。言葉の大切さは、私が伝えたいことと一緒に。」と。

その後、腰塚さんの本の中にある文章で、私の心に残っていた言葉を2つ腰塚さんに伝えました。

一つ目「すべての結果は自分が作りだしているから人のせいにしないこと。よい結果も悪い結果も、「自分が源」となって引き起こしていると思うこと」

二つ目「誰かと比べるのではなく、自分が自分との約束を守る。人との比較で優劣をつけるのではなく、自分が自分の取り組みにOKを出せるかどうか?である」

腰塚さんのこの考え方、みんなはどう思いますか？

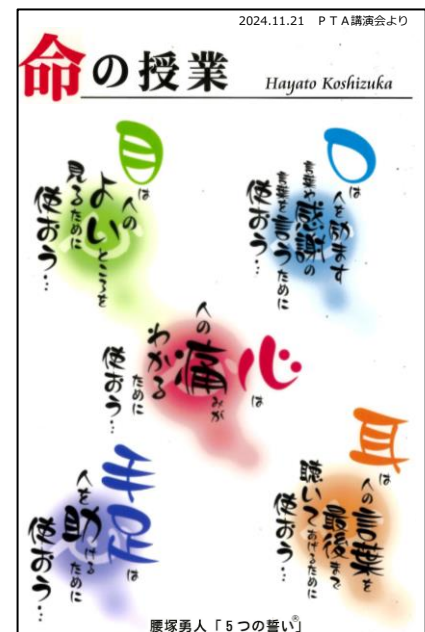
ビリギャルのさやかさん。まさに、腰塚さんのこの考え方を実践していますよね。結果は自分次第。人のせいにならない。自分でやると決めた勉強をして自分にOKを出す。

3学期の登校日数は、わずか48日です。

先程決意発表してくれた、Sさん、Kさん、Iさんのように目標をしっかりと設定しましょう。設定したら、毎日やることを具体化・見える化し、実行することで毎日小さな違いを作りだしていく。努力を継続した人が、ほしい結果をゲットする。終業式の日、3学期の自分の取り組みにOKを出せるよう、がんばってほしい。それとともに、自分の得意や強みを磨く48日間に！

今より成長した自分を実感して、ぜひ、1、2年生は進級を、3年生は卒業してほしい。

入試に向かう3年生にとって大事な時期に入ります。学校全体でインフルエンザやコロナウィルスへの感染予防に努めながら、お互い元気に生活しましょう。



生徒の健康に関すること、スクールソーシャルワーカー (SSW)、スクールカウンセラー (SC) への相談等ご希望がありましたら、お気軽に学校までご連絡をお願いします。また、「育ちあいちの」(市役所6階こども課内)へ相談は随時行えます。ぜひ、ご利用ください。
(電話: 72-2101 内線 615)

茅野市立長峰中学校
担当 吉澤 秀幸 (教頭)
住所 〒391-0013
茅野市宮川11288
電話 72-4108
FAX 72-4109